

日立みらいイノベータープログラム

2023年度講師交流会・教員ミーティング開催

日立財団は、2016年より日立グループ各社と連携し、日立みらいイノベータープログラムを実施しています。本プログラムは小学校5年生を対象とし、問題発見や課題解決の力を育成することを目的に、日立社員による出張授業や教材提供を通じ、教育現場の探究学習を支援するものです。

2023年度は、埼玉県戸田市、大分県豊後高田市、秋田県秋田市、群馬県玉村町、茨城県日立市の5校で、本プログラムを実施しました。今年度は初の試みとして、各学校の講師としてご参加いただいた、日立グループ7社、26名の方を対象に2024年1月に講師交流会を、また2024年2月に3校の先生方と地域を超えた教員ミーティングを開催しました。

2023年度講師交流会 (2024年1月17日)

講師交流会には、リモート参加を含め、各社の取り組みCSR担当者を含む30名に参加いただきました。

児童の皆さんに、課題解決のアドバイスをするためのマインドや、成功事例、進め方の改善点などを共有しました。

次年度につながる大変有意義な交流会になりました。



2023年度実施校教員ミーティング (2024年2月9日)

みらいイノベータープログラムを実施いただいた先生方と今年度の成果をふりかえり、本プログラムの価値、今後に向けた改善点、何よりも各校の児童の成長について共有するオンラインミーティングを開催しました。各校それぞれの取り組みから、共通の課題への対応や探究の充実のヒントを学び合う貴重な時間となりました。



戸田市立笹目小学校

育成したい力  
主体的に行動する力・課題解決力

5年担当 栗原先生 小林先生  
国語で学習する話し合い方、インタビューの方法や考えのまとめ方などを本プログラムの活動を題材に学習。実施時間を確保しつつ、学んだことをすぐにグループワークでいかすことができるように工夫しました。

日立市立大みか小学校

育成したい力  
主体的に行動する力・分析力

5年担当 小林先生  
最初は、教員自身がどのように進めたらよいか悩むこともありましたが、活動を進めると児童の意識が変わり、取組は教員が進め方を考えるものではなく、自身が今必要な活動や準備を考えて進めるものになりました。

豊後高田市立桂陽小学校

育成したい力  
主体的に行動する力・相手のことを考える力

5年担当 花崎先生 結城先生  
中間発表で考えたことを講師に向けて発表したことで、達成感をもってしまった児童もいました。そこで、中間発表の意味と、フィードバックの内容を確認する授業を実施。目標達成に向け、自分たちに何が足りないのか、具体的に確認する機会を設定し、それぞれのグループがめざすものを意識させました。

News Letter Vol.48 / 2024.03

日立財団では、財団の活動情報を集めたニュースレターを発行しています。シンポジウム、セミナー、表彰式などの活動報告や、最新のトピックスなど、日立財団に関するさまざまなニュースをお届けいたします。ぜひご覧ください！

学術・科学技術の振興

日立感染症関連研究支援基金

第2回中間報告会開催

2024年3月13日(水)、日立感染症関連研究支援基金第2回中間報告会を開催しました。

日立感染症関連研究支援基金は、COVID-19禍への対処において顕在化したさまざまな問題をエビデンスに基づき学術的に調査、分析、考察し、その知見を国際的に共有することをめざす研究に対して助成するもので、株式会社日立製作所ならびに同社役員や従業員、グループ会社役員からの寄付によって新設されました。助成対象研究プロジェクト5件を採択後、2021年12月から3年間の予定で研究活動が進められています。

第2回中間報告会では、各研究プロジェクトの代表者より、2023年4月から2024年3月の研究活動状況および今後の活動予定をご報告いただきました。



東京大学 鈴木寛氏 東京大学 鎌江伊三夫氏 大阪公立大学 金子明氏



早稲田大学 田中幹人氏 東京大学 華井和代氏 山梨大学 原本英司氏

第2回中間報告会

総合型研究

International Joint Study on Public Health Economics and Value Assessment of Prevention in Pandemic - Lessons learned from COVID-19 and evidence-based recommendations for future crisis

(パンデミックにおける公衆衛生経済学と感染症予防の価値に関する国際共同研究-新型コロナ感染症の教訓、および、将来の危機に対する科学的根拠に基づく提言)

●報告者：東京大学 公共政策大学院 教授 鈴木 寛氏、東京大学 公共政策大学院 特任教授 鎌江 伊三夫氏

領域開拓型研究

Malaria eradication in the era of COVID-19 pandemic: a study integrating sociological, economic, and medical approaches to overcome the challenges in tropical Africa

(新型コロナウイルス感染症パンデミック下のマラリア根絶：社会・経済学と医学の統合的アプローチを通じた熱帯アフリカにおける挑戦)

●報告者：大阪公立大学 大学院医学研究科 寄生虫学分野 特任教授 金子 明氏

Covid-19 and Society: Comparative Analysis of Risk Communication, Expertise, and Citizenship

(COVID-19対策の国際比較分析～リスクコミュニケーション、専門知、市民社会)

●報告者：早稲田大学 政治経済学術院 教授 田中 幹人氏

Exploration of Practical Wisdom and Resilience Overcoming Downside Risk -Collecting grassroots voices in Africa under COVID-19

(ダウンサイドリスクを克服するレジリエンスと実践知の探究 - 新型コロナ危機下のアフリカにおける草の根の声)

●報告者：東京大学 未来ビジョン研究センター 特任講師 華井 和代氏

Implementing wastewater-based epidemiology in Asian communities to strengthen resilience against pandemics

(パンデミックへのレジリエンス向上のためのアジアにおける下水疫学調査の実装)

●報告者：山梨大学 大学院総合研究部附属 国際流域環境研究センター 教授 原本 英司氏

倉田奨励金

# 2023年度 倉田奨励金受領者決定～贈呈式・研究報告会開催

2024年3月4日(月)、京王プラザホテルにおいて、2023年度(第55回)倉田奨励金贈呈式を開催しました。今年度は279件の応募があり、厳正な審査により決定した43名の研究者に対して贈呈しました。

倉田奨励金は、日立製作所第2代社長の倉田主税が提唱し創設した研究助成金で、グローバルな社会課題解決力を担う次世代の研究者による自然科学・工学研究、および高度科学技術社会に通底する人文・社会科学研究を対象とし、助成するものです。

贈呈式では、選考委員長の花木啓祐氏から今年度の選考経過報告があり、研究テーマの紹介とともに理事長からひとりひとりに贈呈書をお渡ししました。続いて各部門・分野の代表者が登壇し、今後の抱負などをスピーチしました。今年度受領者43名の研究テーマはWEBサイトに公開していますので、ぜひご覧ください。

<https://www.hitachi-zaidan.org/topics/topics106.html>



公益財団法人日立財団  
2023年度 第55回倉田奨励金贈呈式・研究報告会



## 受領者代表挨拶

### 自然科学・工学研究部門

#### エネルギー・環境

東京農工大学 久保 若菜 氏  
「IoT機器への通年給電を可能にする環境発電の実現」

#### 都市・交通

東京大学 矢澤 大志 氏  
「土壌特性の直接観測に基づくプランテーションの社会水文影響の分析と洪水管理の検討」

#### 健康・医療

奈良県立医科大学 中澤 務 氏  
「膠芽腫の低酸素環境を克服するHIF1 $\alpha$ ノックアウト同種NK細胞の開発」

### 人文・社会科学研究部門

#### 大阪大学 石黒 暢 氏

「人間とテクノロジーが調和する持続可能な介護システムー「ケアの倫理」からの考察」

## 2023年度 第55回



東京農工大学 久保若菜氏

贈呈式に続いて、同会場にて研究期間を終えた受領者による研究報告会を開催し、代表者4名に研究成果を発表いただきました。

贈呈式・研究報告会閉会後は会場を移し懇親会を行いました。ご列席の皆様には和やかな雰囲気の中、情報交換などで交流を深めていただきました。日立財団は、この交流が皆様の研究の更なる発展につながることを願っています。

## 倉田奨励金 研究報告会

### 発表1: エネルギー・環境分野

望月 泰英氏(東京工業大学)

地球上に豊富な元素で構成される負熱膨張材料の機構解析と実験実証

### 発表2: 都市・交通分野

高島 知行氏(近畿大学)

道路閉塞が地震・津波の人的被害に及ぼす影響の解明

### 発表3: 健康・医療分野

北條 宏徳氏(東京大学)

ゲノム編集法と一細胞RNA-seq解析を融合した疾患関連SNPスクリーニング法の開発

### 発表4: 人文・社会科学研究部門

奥乃 真弓氏(東洋大学)

信頼されるAI (trusted AI) に関する信認関係の継続的な構築における法的課題の研究



近畿大学 高島知行氏

## 日立財団科学技術セミナー

# 「睡眠の謎に挑む」アーカイブ動画配信のご案内

2023年11月12日(日)に開催した第19回日立財団科学技術セミナーのアーカイブ動画を日立財団公式YouTubeチャンネルに公開しました。

ご視聴は、お申込みいただいた方への限定公開となります。ご興味のある方は下記からお申込みください。



視聴申込はこちら



※申込フォームにメールアドレスをご記入のうえ送信してください。  
ご登録のアドレスに視聴用URLをお知らせいたします。  
※いただいたメールアドレスは、本セミナーアーカイブ視聴のご案内にのみ使用いたします。

## 睡眠の謎に挑む

～基礎研究から睡眠ウェルネスへ～

筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構(WPI-IINS)  
機構長/教授 柳沢 正史 氏

日立財団科学技術セミナー 2023年11月12日(日) 九段会館テラス

公益財団法人 日立財団



## 日立財団アジアイノベーションアワード

# 2023年度アワード受賞者および研究概要公開

2024年1月30日(火)、2023年度の日立財団アジアイノベーションアワード受賞者および研究概要を日立財団ウェブサイトにて公開しました。ぜひ、ご覧ください。

<https://www.hitachi-zaidan.org/topics/topics104.html>

